



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年8月24日(月) 第6回 通算第1570回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第6回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 黒澤 信之 会長

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

ソングリーダー 佐藤 卓立 会員

◇お客様並びにビジター紹介

◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



今日も多くの会員の皆様にご出席をいただきありがとうございます。一頃の猛暑もひと段落し、朝晩は大分しのぎ易くなってきたように感じられますが、暑さ寒さも彼岸までと申しますし県内でもコロナ感染が再び増加傾向にございますので、どうぞ体調管理には十分に気を付けてお過ごしいただきたいと思っております。さて、前回の例会ではガバナー補佐に2回目のクラブ訪問をいただきました。スピーチの中で、様々、お考えをお話いただきましたが、皆様、どの部分が印象に残っていらっしゃるでしょうか…。私は、冒頭でお話になった、ロータリーとは何か?という部分が一番印象に残っています。自分自身、他人に聞かれたときや説明するときはどうこたえてよいのか迷ってしまうところも実はあるからです。私の挨拶でも何度も申し上げていますが、当クラブの最重要課題であるクラブ力強増の為の会員拡大活動に際しても欠かせないことですので皆様にも今一度再確認をしていただきたいと思っております。要約すると、ロータリーとは、人々が手を取り合って行動する世界を目指す団体であり、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することを使命としている。ということです。前回ご案内いたしました通り、お手元に候補者推薦用紙をお配りいたしますので、ぜひこのロータリーの崇高な理念に賛同する同志をご推薦くださいようお願いいたします。本日は、セミナー報告でございます。クラブ研修リーダー会議の佐藤宗弘会員、会員増強・拡大・情報委員会セミナーの相澤 隆会員、ロータリー財団セミナーの久米允彦会員には、お忙しい中のセミナー参加をいただきありがとうございました。クラブ力強増のヒントとなるような報告をしていただけたものと楽しみにしておりますので後ほどのスピーチではよろしくお願いたします。毎度、増強のお願いばかりになってしまっていますが、8月は強化月間となっていることに免じてご容赦くださいますようお願いいたします。会長挨拶とさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

◇例会変更のお知らせ

・当クラブ、次週31日(月)の例会は理事会承認休会

①となっておりますのでご注意願います。

②その他のお知らせ

・8月29日(土)13時より地区公共イメージIT委員会

が福島県農業総合センターにて開催されます。当ク

ラブからは根本いずみ会員が出席されます。

・9月5日(土)9時30分よりビッグパレットふくしまにて開催されます地区社会奉仕・国際奉仕セミナーは佐藤卓立社会奉仕委員長が出席予定です。

・8月ロータリーレートは1ドル105円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智弘 委員

○黒澤信之会長＝本日も残暑厳しい中ご出席ありがとうございます。セミナー報告、宜しくお願いたします。

○佐藤慶行幹事＝本日の各セミナー報告の皆様、よろしくお願致します。

○高橋智弘会員＝先日、母の四十九日の法要納骨を済ませました。西クラブの皆様には葬儀の際多大なるご芳志と献花をいただき誠にありがとうございました。

○久米允彦会員＝スピーチ、お付き合い願います。

○梅津一匡会員＝先月例会出席の際、小澤さんに朝ドラ出てる?と言われ、少しうれしかったです。ちなみに私は出てませんが、先週、つれあいの母親がTVに出ていて驚きました。

各セミナー出席報告によせて

○相澤 隆 会員 ○大平 謹一郎 会員 ○佐藤 卓立 会員

○佐藤 宗弘 会員 ○高梨 哲男 会員 ○長島 健博 会員

○野尻 榮一 会員 ○宮崎 秀剛 会員 ○渡辺 敬敏 会員

本日のスマイリングBOX集計14件 28,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——セミナー報告

○クラブ研修リーダー会議 佐藤 宗弘 会員



去る7月11日(土)郡山ユラックス熱海で第2530地区クラブ研修リーダーセミナーが開催され、高橋智弘会長エレクトの代理として出席してまいりました。10時30分より、星富士雄(喜多方RC)地区研修委員会副委員長の司会で、石黒ガバナーの開会点鐘、ガバナー挨拶に続き、地区研修リーダー平井義郎バスターガバナーの挨拶、司会より講師紹介、セミナーの進め方についてお話がありました。休憩を挟みながら3つのセッションについて講義を受けて参りました。内容については下記のとおりです。

○セッションI
「クラブ研修リーダーの心構え」
佐藤喜市郎(飯坂RC)地区研修委員会
リーダー的立場の者は前面に出ず、メンバーに空気を送ることが重要。自分の会社本気、ロータリー本気度薄。

会員増強の認識が会員に届いていないのが現状。

○セッションⅡ

「ロータリーの基本知識」

平井義郎(福島中央RC)地区研修リーダー

マイロータリー：ラーニングを活用して説明。

クラブ研修リーダーはクラブの目標に向かって先導する役目を持っている。現在、クラブ・会員が減少し、クラブ活性化に苦慮しているがこの対応には会員に対する研修が重要であると考え。今こそ、クラブ研修リーダーの役割を認識し、ロータリーに活力を復活させる必要がある。

○セッションⅢ

「新会員セミナー開催事例」

鈴木和夫(福島中央RC)RLI委員会委員長

入会5年未満の会員、時期理事役員、希望者を対象にロータリー情報教育委員会(4名の会長経験者)を講師として、3日間にわたり研修。

使用教材：ロータリアン必携、ロータリーの歴史、ロータリー用語集

内容：ロータリーの奉仕理念、クラブ管理、公共イメージ、米山・財団など

*所感

ロータリーの新しい行動計画の中でのクラブ研修リーダーの責務は重要と捉えますが特に原点はクラブの活性化です。クラブが活性化しなかったら、如何にRIが力もうと、如何に地区が大騒ぎしようとしてロータリーは機能しません。クラブこそ一番の草の根の基盤だと思います。3年に1度開催されている規定審議会に見られる潮流は、柔軟性の導入です。クラブの運営や活動は、過去の活動を固定的に考えないで、柔軟にそして革新的な方法も取り入れて長期的に考えるべきだと強調されています。また、クラブ会員の増強や構成の面で、各種の多様性を認める事は実質的な増強につながると考えられます。そして、5大奉仕を中心にバランスのとれた奉仕活動は、クラブの良きリーダーを育て、ロータリーの発展を促すと言われていました。先般、石黒ガバナー、廣澤ガバナー補佐、そして黒澤会長もおっしゃっていましたがロータリーはエクステンション(拡大での増強)からストロング(強化)の時代に移っております。研修リーダーの設置に文句はないのですが、その役割は重すぎます。会長、エレクト、副会長など当面クラブの指導者的立場の者やパスト会長などを構成員とした長期ビジョン検討委員会を策定、意見を集約して、会員のコンセンサスを踏んでいければと思っております。この度、黒澤会長が提案した新会員メンター制度は効果的な施策です。私自身卓越した指導力はまだまだですがクラブの刷新性と柔軟性を育て、クラブ活性化に寄与できるよう努力して参ります。

○会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー 相澤 隆 会長



6月21日に郡山ユラックス熱海で開催されましたRI2530地区の「会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー」について、報告をさせていただきます。今回のセミナーは、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として三密を避けながら午前、午後の2部に分けて開催され合計で121名が参加。当クラブは午後の部ということで午後1時半から4時まで、黒澤会長と私の2人で参加をさせていただきました。研修のメインは、会員増強・拡大・ロータリー情報委員会の比佐臣一委員長と、福外透会員増強・拡大小委員長、江花祥雄ロータリー情報小委員長の御三方が講師を務めまして、今年度の会員増強目標や活動計画、さらには具体的な戦略等について説明をされました。まず、石黒ガバナーが掲げた今年度の会員増強の目標ですが、昨年引き続き2530地区にちなんで2530名となっています。これを達成するためには250名以上の純増が必要となりますので、地区では①80名以上の3クラブは純増10名以上②50名以上の8クラブは純増8名以上③40名以上の13クラブは純増5名以上④30名以上の15クラブは純増3名以上⑤30名未満の26クラブは純増2名以上という数値目標を示し「とにかく全クラブで取り

組もう」と努力しております。次に、これら目標達成のためにクラブが取り組むべき具体的な戦略としましては、クラブの現状を評価すること、クラブのビジョンを描くこと、そして入会の魅力を高めること、会員の積極的参加を促すこと、会員維持力を高めること、公共イメージの向上、新クラブの設立などの取り組みを求めています。この中で注目したいのは5番目の「会員維持力を高めること」で、分かりやすく言うと「会員増強の第一は、退会者をいかに少なくするか」ということです。石黒ガバナーは「会員増強より、会員増増だ」と言っておりますが、「会員増強を実行するためには大きなエネルギーが必要であり、会員の退会を無くす努力の方が使うエネルギーは少ない」ということで、新会員向けのオリエンテーションの実施や、魅力ある例会プログラムの作成、会員が自分の専門知識やスキルを活用できるような機会の設定、年会費等引き下げの努力などを紹介しています。また今回、地区の戦略として強調しておられたのが「SAKUJI作戦」の実行であり、すでに実行しているクラブも出てきているようであります。先輩方は既にご存知の事とは思いますが、私を含め入会歴が浅い方もいらっしゃいますので、概要について簡単に補足をさせていただきます。「SAKUJI作戦」とは、2012-13年度のRI会長でありました田中作次氏が、当時のRI理事会で「2015年6月末までに会員数を130万人にする」と決議されたのを受けて、日本の責任として国内会員10万人を達成したいと要望されたのがきっかけです。日本のロータリアンの中で「田中会長を支えよう」という気運が高まり、全国的に地区の枠を越えて会員増強を推進するために、会員候補者の所在地がどこであろうと推薦書を提出して、身近なクラブへの入会を勧めるという取り組み、いわゆる「サクセス・ジャパン作戦」が計画されました。このサクセス・ジャパンの頭3文字「サク・ジ」を取って「SAKUJI作戦」と名付けられたということです。具体的な内容としては、日本中のロータリークラブ会員が協力して、日本の各地で活躍する知人、友人や取引先などをロータリアンとして推薦し合うという方法です。すぐに自分たちのクラブの会員増強に直結するものではありませんが、この方法で、どこかのクラブに私達の友人が会員として歓迎されることとなります。同様に日本のどこかのクラブから紹介された方々が、私達のクラブの会員として入会することも期待できます。今後、当クラブの会員増強・会員選考・職業分類・ロータリー情報小委員会におきましても、黒澤会長を中心にして増強・強増に努めてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたしまして、セミナーの報告とさせていただきます。

○ロータリー財団セミナー 久米 允彦 会長



黒澤会長年度に財団小委員長を拝命頂きました。2年続けてのお役目となりました。去る7月18日に郡山市の「福島県農業総合センター」で開催されましたセミナーに参加してきましたのでご報告致します。毎年同じことの繰り返しの研修と言いますと、主催者の地区役員の方々には失礼になりますが、身も蓋もない言い方ですが、寄付金については、①財団基金寄付を早めにしてください。②希望寄付額150ドルを目標として下さい。③ポリオプラスの30ドルもお願ひします。④早めの寄付により、地区内寄付金0クラブをなくしましょう。というお願いのお話が主でした。今年度の早川委員長は、既にベテランの域に達した委員長で、加えて財団には並々ならぬ情熱の持ち主とお見受けしました。「ご相談があればクラブにお伺ひします。」とまで仰る熱の入れようです。先日石黒ガバナーの公式訪問時に「財団補助金は『総事業費の4分の1まで』ではありません。」と仰ったと記憶していますが、早川委員長からはその点についてのコメントはありませんでしたので、機会があればお伺ひしてみたいと思います。私の報告はセミナー参加報告というよりは早川委員長のお願ひの二番煎じで申し訳ありませんが繰り返してお願ひ致します。①財団基金寄付を早めにしてください。②希望寄付額150ドルを目標として下さい。③ポリオプラスの30ドルもお願ひします。ついでに米山奨学会寄付金も宜しくお願ひします。

◇閉会点鐘

黒澤 信之 会長